

TTC ゆった〜り山行実施記録表 2019年9月16日 報告者:Y.M

山行名	港ヨコハマ(みなとみらい〜赤煉瓦パーク〜大棧橋)満月ウォーキング [横浜市]			
実施日	令和元年9月14日(土) 日帰 公共交通機関利用			
天候/参加人員	天候:晴(雲量~70%)、レベル:★ 参加者:申込7名/実施6名(男2名/女4名)			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバ	省略			
費用(交通費)	約1,044円(本厚木駅からの往復交通費(各自PASMO支払い))			
一人:1,044円 (本厚木起点)	本厚木-海老名-横浜:@432x2=864円、地下鉄みなとみらい駅-横浜:180円			
	歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行距離:~12km 歩行数:~18,000歩
計画	3:00	1:00	4:00:	
実行	2:43	1:31	4:14	
実行コースタイム記録				
(集合4名) 相鉄線特急(合流2名) 0:18 0:24【夕食:中華天府城】 0:10 【大道芸見物】 0:19				
本厚木==海老名==相鉄横浜駅——日産ビル——みなとみらい MMビル——グランモール公園円形広場——臨港パーク南口広場				
15:28	15:31/15:40	16:05/16:13	16:31	16:55 17:32 17:42-17:55 18:14
0:22	0:30	【港ヨコハマ大展望/月見】 0:20		0:13 0:07
——国際橋——赤煉瓦パーク——新港橋——象の鼻パーク——大棧橋(鯨の背パーク)——ワールドホータス——コスモワールド——国際橋——				
	18:46/18:50		19:20/19:45	20:05 20:18/20:20
地下鉄みなとみらい線 0:12 相鉄線快速 小田急				
——クインズスクエア・地下鉄みなとみらい駅==地下鉄横浜駅——相鉄横浜駅==海老名==本厚木				
20:27-	20:32	20:36	20:48/21:00	21:37/21:40 21:44着
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>今年の中秋の名月(旧暦8月15日)は月齢13.7で、満月には1日早い。そこで、実施日を1日遅らせて、9/14(土)の満月の日に設定した。当初計画では、サセットと満月をセットにしたが、陸地側に沈む日の入はビルに阻まれ、感動するシーンを得るのは難しいこともあり、雲間に昇る満月と漆黒の空に煌めくみなとみらいのビル群、コスモワールドの大観覧車、ベイブリッジ、港内を移動するクルーズ船のイルミネーションの鑑賞に絞ることにし、スタートとゴール時間を当初計画より約1時間遅らせることにした。</p> <p>相鉄横浜駅でメンバ6名が顔をそろえ、混雑する駅構内中央通路を東口に抜け、日産本社のショールムを見下ろしながら通過し、みなとみらいの遊歩道をランドマーカーを目指して歩いた。途中、MMビル2階の四川中華「天府城」で早めの夕食。この辺の食事処は土曜日の夕方は客もまばらで、酢豚や林檎か定食、刀削麺、焼餃子等、1000円未満の出費でゆっくり食事を楽しんだ。</p> <p>ランドマーカー下の円形広場でパフォーマンス中の米国男性の一輪車曲乗りをしばらく見物しているうちに日暮れを迎えた。クインズスクエアを抜け、パシフィコ横浜の横から臨港パーク南広場に降り立ち、インタコンテナビルを右に見上げ、波打ち際を進んで、国際橋を渡り、万葉倶楽部を右に見て、再び海岸に沿って新港パークから赤レンガパークへ、磯の香りを楽しみながら海沿いを歩いた。赤レンガ倉庫広場ではイベント開催を待つ若者で溢れかえり、海に沿った遊歩道は通行止め。やむなく一号館内を抜けて再び海辺に出て、象の鼻パークから大棧橋の上に架かるウツデツキ「象の鼻パーク」に向かった。満月の月の出時刻からほぼ1時間を経たこの時間になって、ようやく雲間から満月が顔を出し、8:00pmを過ぎる頃には、南の空高く完璧な満月が姿を見せた。今夜は真上に雲はないものの、低い位置の空は雲が覆う空模様。しかし、8pm過ぎれば月が高く昇り、満月が姿を見せるはずと予想していた通りの展開になった。ただし、今年の中秋の満月は、月の楕円軌道の関係で、今年最小の大きさとのことで、少々迫力に欠けるのは残念。鯨の背のウツデツキに立ち、涼風に吹かれながらの360°広がる幻想的な夜景を存分に楽しんだ。大棧橋からは本日最後のナイトクルーに出航するRoyalWings号(2876トン/全長86.7m/定員630名)を見送り、ベイブリッジ、ランドマーカーやクインズスクエアの照明、花火の輪のように色や形が次々変わる大観覧車、赤レンガ倉庫を照らす幻想的なライティングにしばし酔いしれた。</p> <p>帰路はみなとみらいのビル群の幻想的なイルミネーションを正面に眺めながら、赤レンガ倉庫からワールドホータ、そして、次々と変化するコスモワールドの大観覧車のイルミネーションを間近から興奮しながら見上げた。クインズスクエアに戻り、長いエスカレーターで地下深い地下鉄駅から横浜駅に戻り、フィニッシュとした。参加メンバからは港ヨコハマの想像以上の素晴らしい夜景に感銘を受けたとの感想を戴いた。</p>				